

2009年度

科目名	宗教学		
担当教員	梯 信暁、貫名 讓		
配当	教育3	コード	51010
開期	通年	講時	金曜日1限
単位数	4		
授業テーマ	(前期) 日本仏教の展開と、親鸞の生涯とその思想 (後期) 釈尊の思想と大乘仏教の理念		
目的と概要	<p>(前期) 日本に仏教が伝来してきたところからみていきます。仏教が伝わって以降、日本の社会や人々の生活にどのような影響を及ぼしたかを、時代の流れに沿って進めていきます。そして、鎌倉新仏教の祖師たちの中で、親鸞にスポットをあて、彼の生涯とその思想にふれてみようと思います。</p> <p>(後期) 本学は大乘仏教の信念に基づいて創建された大学です。本講義は、その建学の精神を具体的に示すことを目的とします。釈尊によって提唱された仏教は、あらゆる生命にそなわる平等の尊厳を説くところに特徴があります。この点を特に強調して、平等と和合の社会の実現をめざしたのが大乘仏教運動です。インド仏教史を概観しつつ、大乘仏教の理念を求めてゆきたいと思います。</p>		
成績評価法	期末試験の成績・平常点		
テキスト	(前期) 荻野 勝行・貫名 讓(共著)『経験論の宗教学』杉山書店 (後期) 梯 信暁『インド仏教史序説』百華苑		
参考書			
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>◆前期</p> <p>(1)オリエンテーション: 講義の目標と内容の概説  (2)日本仏教: 仏教伝来  (3)聖徳太子の仏教: 和の世界の構築  (4)国家仏教の形成: 鎮護国家のための仏教  (5)南都仏教: 学問的仏教の隆盛  (6)平安仏教: 最澄と空海の目指したもの  (7)鎌倉新仏教: 民衆のための仏教  (8)鎌倉新仏教の担い手たち: 信心と念仏・題目・禅の実践  (9)親鸞の生涯  (10)阿弥陀仏とは: すべてのものを救う仏の願いとはたらき  (11)信心と念仏: 信じる心と、感謝の心  (12)親鸞の人間観: 悪人としての自覚  (13)親鸞の生き様: 非僧非俗と妻帯生活  (14)親鸞と人との関わり: 在家仏教と御同朋・御同行の世界  (15)試験</p> <p>◆後期</p> <p>(1)オリエンテーション: 講義の目標と内容の概説  (2)釈尊の生涯: 誕生からさとり完成まで  (3)釈尊の生涯: 伝道活動と教団の組織  (4)仏教の根本思想: 縁起の思想  (5)仏教の根本思想: 縁起と無我  (6)仏教の根本思想: 四諦・八正道  (7)仏教の発展: 原始仏教  (8)仏教の発展: 部派仏教  (9)大乘仏教の興起: 大乘仏教運動の理念  (10)大乘仏教の興起: 大乘仏教の源流  (11)大乘仏教の思想: 大乘経典の成立  (12)大乘仏教の思想: 初期大乘経典の平等思想  (13)大乘仏教の思想: 中期大乘経典の思想  (14)大乘諸学派の成立  (15)まとめ</p>			